

8) 外部への講師派遣・協力依頼

仲松由美子¹

キーワード：地域連携 人材育成 講演 講師派遣 外部団体 委員会

1. はじめに

当財団では、地域連携や人材育成を目的として県内外の学習施設や教育機関等から依頼を受け、当財団職員を講師として派遣、亜熱帯性動植物および海洋文化・琉球の歴史文化に関する調査研究の成果等の普及に取り組んでいる。

また、外部が組織する委員会への委員就任・外部団体主催事業への協力を行っている。

2. 令和5年度講師派遣等協力実績

1) 派遣数及び派遣先(実施場所)

派遣回数は103回(対前年度比106.1%)にのぼった(表-1)。講演会等の講師派遣では対面、委員会等の会議はオンラインでの開催が主であった。

2) 内容

亜熱帯性動植物に関する講演や当財団が受託管理運営を行う中で培った知識や経験を基にする依頼内容となった。

動物分野ではウミガメ、サメ、ザトウクジラなど、当財団が継続的に調査・研究を行っている生物に関する講演や、小学生や親子を対象にしたプログラムではワークショップなどの工作体験も取り入れた。また、沖縄県子ども科学技術育成事業では、学習機会を増やすため離島への派遣にも対応した。

植物分野は、自治体からの依頼で剪定技術に関する講演や、植物研究雑誌編集委員会より編集と校正作業の依頼があったほか、国内希少野生動植物生育状況調査や島野菜の産地調査などの視察対応依頼を受けた。

歴史文化分野では、首里城に関する講話や首里高校と連携した学校評議会への参加依頼があった。

海洋文化に関する分野では、他施設・機関との共同調査について文化研究会での講話や民俗文化財保護の観点から、糸満市等の自治体による協力要請も引き続き受けた。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてからは、対面での実施が増加し、かつ離島での開催も平時と変わらない状況に戻りつつある。講演では、財団が関係する園内外での活動事例や施設の紹介も行い、関係施設の利用促進にも貢献した。

3) 今後の展開

講師派遣依頼による講演は、財団独自のノウハウや研究の成果を公表する場となる。その為、財団事業の認知度、社会的評価を向上させるための広報的事業として、継続する。

3. 外部評価委員会コメント

財団が有する研究共同体制で、地域連携を目的として、外部団体が主催する事業や講演などへの協力依頼について対応している社会貢献性の高い事業である。今後も積極的な協力・提供を期待する。(池田顧問：琉球大学名誉教授)

¹ 普及開発課

表-1 外部への講師派遣実施結果一覧

実施日	会場 (市町村)	事業名(講座名)	内容	参加人数
4月7日	星のや沖繩(読谷村)	星のや沖繩へのザトウクジラ、ホエールウォッチングに関する講義	スライドを用いて、質の高い特長的なホエールウォッチング事業を実施するための基礎知識、研究成果について講義した。	4
4月19日	オンライン	「創造システム工学」授業におけるサバニに関する講義	スライドを用いて、サバニの歴史、現状、未来への展望について講話した。	約 40
5月6日	オンライン	植物研究雑誌編集委員会	植物研究雑誌第98巻4号の編集と、3号の最終校正を行った。	14
5月10日	オンライン	沖縄県版レッドデータブック編集委員会(分科会)	維管束植物分科会の編集工程、補足調査、実施体制等について事務局とすり合わせを行った。	4
5月12日	オンライン	コアファシリティ構築支援プログラム 第11回TECHゼミ	沖縄の在来作物・島ニンジン(根色の違い)に関する成分の系統間差異に関する内容を紹介した。	25
5月13日	沖縄県緑化推進委員会 (南風原町)	第1回 日本樹木医会沖縄県支部研修会	剪定技術に関する基礎的な知識や剪定方法について、紹介した。	約 30
5月15日	オンライン	沖縄生物学会評議員会	会則の変更や生物学会大会の準備状況などについて審議した。	約 15
5月16-22日	書面	令和5年度「文化財関連運用具・原材料調査事業(工芸技術)」実施における企画選定のための書面審査	文化庁の審査要領及び審査基準等に従い、審査対象1件の書面審査を行った。	-
5月17日	自治研修所 (那覇市)	沖縄県自然環境保全審議会	沖縄県からの諮問及び報告案件について審議を行った。	約 20
5月19日	うるま市社会福祉センター	クラフトサロン遊ひるぎにおける体験活動	クバの葉クラフト(クバの工作と遊び)を実施した。	15
6月3日	WEB会議システム	「生きる文化遺産」研究会 本部半島周辺のタンク船	令和3年10・11月に国立民族学博物館 飯田卓准教授と行った共同調査の成果と意義について、スライドを用いて解説した。	18
6月16日	糸満市	糸満市文化財保護委員会臨時委員委嘱	漁撈具を中心とする有形無形の民俗文化財の文化財指定について助言する。	-
6月30日	糸満市	有形民俗文化財(漁撈具等)台帳の監修作業	台帳の内容確認と県内類例等を教示した。	-
6月30日	沖縄県総合福祉センター (那覇市)	令和5年度かりゆし美術展審査員運営等検討会	当展の募集要項の検討事項について協議した。	15
7月7日	粟国小中学校	星の砂で星座を描こう	有孔虫に関する講義と工作を実施した。	22
7月13日	沖縄県立博物館・美術館	全国歴史民俗系博物館協議会沖縄大会	首里城火災により被災した美術工芸品の修理状況について	60
7月19日	沖縄県立首里高等学校	第1回学校評議会	令和4~5年度首里高校の学校運営、行事、学生の活動および進学実績などの報告を受け、それに対して意見を述べた。	15
7月23日	真喜屋の浜(名護市)	回収した漂着物と生きもののお話	回収したプラスチックゴミを観察し、海洋生物が受ける様々な悪影響について写真パネルなどを用いながら解説した。	75
8月10日	オンライン	沖縄県版レッドデータブック編集委員会(維管束植物分科会)	維管束植物分科会の編集工程、補足調査、実施体制等について事務局及び分科会員とすり合わせを行った。	5
8月12日	おきみゅー	「美ら海トワイライトゾーン」書籍出版イベント	「美ら海トワイライトゾーン」の著者3名による深海生物研究に関する講演、およびサイン会を実施した。	約 50
8月16日	総合研究所(電話)	イルカ・クジラに関する一般電話インタビュー	一般の小学生からのインタビューで「イルカ、クジラはどう違うのか?骨はどういった仕組みなのか?などの質問に答えた。	1
8月17日	水族館(web)	aini サメイベント	サメのウロコ標本を用いて、サメのウロコの形の多様性と機能に関して解説を行った。	16
8月19日	水族館	水族館インタビュー学習	サメのヒレの機能に関する児童の疑問に、電話で回答を行った。	1
8月20日	海洋文化館	海洋文化講座 鯨類と人の関わり	沖縄に生息する鯨類の形態と生態について、また人間との関わりについてスライドを用いて講演した。	約 10
8月20日	おきみゅー	進化展関連催事「サメの解剖教室」	「みんなの進化展」の関連催事として、おきみゅーにてチヒロザメ等の解剖教室を実施した。	約 20
8月21日	浦添市 沖縄県中央卸売場3F大会議室	令和5年度 沖縄野菜安定出荷対策事業【島やサイ産地等調査業務】の意見交換会	在来野菜を生産している各役場市町村の意見交換会へ有識者として参加した。	約 20
8月23日	総合研究所	博物館実習	博物館実習の一環として、動物研究室の業務を紹介するとともに、魚類標本の作成方法に関する実習を行った。	6
8月29日	オンライン	沖縄県版レッドデータブック編集委員会	維管束植物分科会の編集工程、補足調査、実施体制、申し合わせ事項、次年度実施体制等について会議を行った。	約 15
8月31日	浦添市 沖縄環境科学センター会議室	R5沖縄県外来種対策事業 第1回検討委員会	令和5年度における沖縄県の外来種の蔓延状況の説明と、対策事業の実施状況に関して検討と協議を行う(予定)。	12

実施日	会場 (市町村)	事業名(講座名)	内容	参加人数
9月2日	東京大学総合研究博物館 (東京都)	植物研究雑誌編集委員会	植物研究雑誌第98巻6号の編集と、5号の最終校正を行った。	16
9月5日	名護市産業支援センター (名護市)	外来植物対策事業第1回作業部会	沖縄県の外来植物対策事業の今年度の作業内容と次年度以降の進め方、改善点などについて議論した。	30
9月15日	星のや沖縄	ザトウクジラに関する講演	星のや向けにホエールウォッチング事業についての講演をおこなった。	10
9月21-22日	宮古島、伊良部島、来間島 (宮古島市)	環境省事業 令和5年度奄美・沖縄地域における希少植物生育状況調査等業務への有識者派遣	国内希少野生動植物の現況把握調査・視察及び保全に向けた現地ヒアリングへの協力を行った。	3
9月22日	村内園場 (渡名喜村)	令和5年度沖縄野菜安定出荷対策事業【島やサイ産地調査】の産地調査	渡名喜村の島ニンジン生産状況の視察を行った。	4
10月18-20日	香川県坂出市・京都府京都市	金時にんじん現場視察および京野菜に関する聞き取り	金時にんじんの生産現場視察および京野菜の取り組みに関する聞き取りを中城村役場職員とともに有識者として同行した。	3
10月19日	万座ビーチリゾート 他 (恩納村)	沖縄県自然環境保全審議会(現地視察)	国立公園における改変に伴う、景観及び自然環境への影響に関する現地視察を行った。	5
10月24日	八重瀬町新城小学校	ウミガメ講座	ウミガメの生態や生体観察、財団で行っているウミガメに関する調査と海ごみ問題に触れ、命を大切さや環境保全について解説した。	56
10月24日	総合研究所	とわの森三愛高等学校	アオスジトビエイの解剖およびCT撮影を行った。	約 20
10月25日	水族館イベントホール	北見藤高等学校	卒業校の生徒に対して、スライドを用いて、研究者としての仕事内容や進路講話を行った。	150
10月27日	ツーリズムEXPO@ インテックス大阪	ツーリズムEXPO	スライドを用いて、冬の沖縄の観光資源となりうるザトウクジラについて、講演を行った。	30
10月27日	沖縄県青少年会館 (那覇市)	第1回世界自然遺産地域科学委員会	世界自然遺産登録後の登録地域の維持管理、モニタリング結果、計画について議論した。	約 50
10月31日	オンライン	日本植物分類学会絶滅危惧植物専門第一委員会レッドデータ判定会議	日本産植物の中で、新たに絶滅危惧植物とみなすべきと提案された種に関して、委員の意見を集約し絶滅危険度を判定した。	12
11月4日	東京大学総合研究博物館	植物研究雑誌編集委員会	植物研究雑誌第99巻1号の編集と、6号の最終校正と、著者名植物索引のチェックを行った。	14
11月8日	オンライン	日本分類学会連合 標準和名問題検討WG第1回検討委員会	日本の植物につけられる和名の標準化に向けたWGの立ち上げと、生物群ごとの諸問題の情報交換を行った。	12
11月8日	WEB	Asia Marine Mammal Stranding Network(アジア海棲哺乳類ストラディングネットワーク)国際ワークショップ運営委員会議	R6年度沖縄美ら島財団、沖縄美ら海水族館で開催されるワークショップの開催内容に関する会議を実施した。	10
11月11日	多良間村	令和5年度子ども科学技術人材育成事業	「サメ」を題材とした講義の後、サメの脱落歯を用いた工作を実施した。	60
11月18日	那覇市	外来ヘビ対策検討会	やんばる地域への外来ヘビの侵入防止対策に関する専門家会議	12
11月18日	水族館	美ら海オトナ塾	国内随一の研究組織を持つ美ら海水族館が行う最先端研究を、一般の人にもわかりやすく解説した。	13
11月22日	オンライン	国内希少野生動植物種候補 有識者ヒアリング	琉球列島産の希少植物のうち、国内希少野生動植物種指定候補の10種について生育状況、分布、保全状況など情報提供した。	4
11月27-28日	長野県庁園芸畜産課、野沢温泉 村役場、信州大学農学部	伝統野菜における県外先進地(長野県)への調査同行	伝統野菜の取り組みに関して先進地である長野県への調査視察の同行した。	3
11月28日	オンライン	第4版沖縄県版レッドデータブック 生息地等保護ワーキンググループ会議	沖縄県内の保護すべき生息地選定に関する方針を検討した。	20
12月2日	沖縄コンベンションセンター	環境省ザトウクジラシンポジウム	スライドを用いて、南西諸島のザトウクジラの現状と世界のホエールウォッチングの影響について最新の研究成果を交えた講演。	約 150
12月7日	web会議	青森県十和田・八甲田の火山砂防事業地域の環境調査に関する助言	左記の地域における砂防事業の実施による環境への影響を極力少なくする事業区域や工法の設定と必要に応じた移植の方法と事業語のモニタリングについて、専門家の立場から助言を行った。	4
12月9日	琉球大学大学会館3階ホール・ロビー (西原町)	シンポジウム『木をまもる』を亜熱帯の島から考える」	アカギの害虫の生態について紹介した。	約 140
12月11-13日	北大東島	北大東(4)環境現況調査に関する現地調査	北大東島で予定されている施設建設に伴う絶滅危惧生物やその生育環境への影響について適切な助言を行うための現地調査を行った。	5
12月17日	沖縄県立博物館・美術館	サイエンストーク	幼少期から現在までの経歴について、科学関連の異なる業種の4名でトークセッションをした。	約 70
12月20日	web会議	国内希少野生動植物種ホソバジボクサ保全連絡会議	最近新たに見つかったホソバジボクサの保護・保全について関係者(環境省、石垣市、自然環境研究センター)と検討をした。	約 10
12月20日	那覇市	沖縄中南部ホエールウォッチング協会総会	沖縄県内のザトウクジラの現状について最新の研究成果をもとに口頭で講演。	約 50
12月21日	沖縄県立首里高等学校	第2回学校評議員会	令和5年度首里高等学校の現状説明、諸報告等を受け、それに対して意見を述べた。	15

実施日	会場 (市町村)	事業名(講座名)	内容	参加人数
12月22日	沖縄美ら海水族館	クラブ活動にけるサンゴ類についての研修	サンゴ類についての講義と水族館内の水槽でのサンゴ類の観察を行った。	5
12月23日	シャボン玉石けんくくる糸満	くくる糸満におけるウミガメ観察会	ウミガメ類についての講義と生体の観察を行った。	25
12月23-26日	慶良間諸島	令和5年度慶良間諸島国立公園における指定植物普及啓発等業務の講師依頼及び事前視察(環境省事業)	慶良間諸島国立公園における指定植物候補の現況把握及び保全に関する現地ヒアリング、2月開催予定の観察会講師としての下見を行った。	3
12月26-27日	海洋文化館、おきなわ郷土村、備瀬集落	都留文科大学スタディツアー	海洋文化館、おきなわ郷土村で沖縄の海洋文化に関する解説を行ったうえで備瀬集落を訪問し、その事例について講義した。	10
12月27日	web会議	沖縄県自然環境保全審議会 第2回審議会	沖縄海岸国立公園事業(宿舍)の変更についての審議を行った。	約 20
1月6日	東京大学総合研究博物館	「植物研究雑誌」編集会議	植物研究雑誌2024年第1号の校正と第2・3号掲載予定原稿のチェック・第100巻記念号の編集日程の狭義	12
1月7日	あまわりパーク(うるま市)	琉球伝統遊び 子ども風カーブヤー作り	沖縄の伝統文化である子ども風カーブヤーについて学び、実際に作った風を揚げてお正月気分を味わう学習を行った。	30
1月10日	国立沖縄工業高等専門学校	沖縄の鯨類についての講義	スライドを用いて、ザトウクジラを含む沖縄周辺の鯨類について、基礎知識と研究成果からわかったことなどを解説した。	約 20
1月13日	美ら島自然学校	琉大ハカセ塾	ウミガメの生態と砂浜環境について解説した。	22
1月16日	沖縄県庁農林水産部会議室	島ヤサイの懸案事項に関する意見交換会	島ラッキョウの品種について、島ヤサイの名称の定義、島ヤサイ協議会の設置に関して意見交換を行った。	8
1月17日	都屋漁港出港の船上	ホエールウォッチング船でのガイド講習	ホエールウォッチング船を模して、船上でクジラの見つけ方、追跡の仕方、解説内容などを、実際にクジラを観察しつつ講習した。	約 10
1月19日	奥武山公園(那覇市)	沖縄県花き品評会 審査会	沖縄県花と食フェスティバルの花き部門について審査員として招聘され、審査、講評など対応した。	約 20
1月20日	読谷村座喜味城跡公園	座喜味城跡公園の植生調査	座喜味城跡公園の自然環境調査の一環として、植生調査を行った。同事業の有識者として対応。	4
1月23日	中城村役場会議室	沖縄県島ニンジン専門部会	島ニンジンの生産状況に関する意見交換を行った。	8
1月23日	黒島小中学校	マガキガイ学習	マガキガイの生態を学んだ後、殻を使った工作体験を実施した。	17
1月23日	沖縄美ら海水族館	観光庁依頼講習	欧米の富裕層を対象とした海外旅行会社の視察団に対して、パネルを用いて、ザトウクジラや関連する沖縄の取り組みを紹介した。	約 10
1月29日	本部町役場、ツアー船上	本部町ホエールウォッチング旬入り宣言記者会見	記者会見にてザトウクジラに関する質問に受け答えをし、ホエールウォッチング船上でクジラの解説を実施した。	約 40
1月30日	名護市産業支援センター	沖縄県外来種対策事業(植物対策)第2回作業部会	沖縄県の世界遺産地域に悪影響を及ぼす恐れのある2種の外来植物の防除作業の報告と今後の方針の協議等を行った。	約 20
1月31日	沖縄県総合福祉センター(那覇市)	令和5年度かりゆし美術展審査会	出品作品を審査し、受賞作を決定。受賞作の寸評を執筆し提出した。	15
2月3日	水族館ザトウクジラ特設展付近	水族館ザトウクジラ特設展付近でのザトウクジラ学習会と観察会	水族館解説員と共同で、ザトウクジラ特設展のパネルや紙芝居を用いて、ザトウクジラの解説をし、参加者と探鯨を実施した。	約 30
2月4日	琉球大学	沖縄県レッドデータブック改定に関わる会議	沖縄県レッドデータブックに掲載予定の海生哺乳類の調査実施状況の報告や想定されるランク等について議論した。	5
2月7日	渡嘉敷村	渡嘉敷村民へのザトウクジラに関する講演会	スライドやすごろくなどを用いて、地元住民、小中学生にザトウクジラの基礎知識と取り巻く自然環境についての講演を実施した。	約 30
2月8日	座間味村阿嘉島	座間味村阿嘉島住民へのザトウクジラに関する講演会	スライドやすごろくなどを用いて、地元住民、小中学生にザトウクジラの基礎知識と取り巻く自然環境についての講演を実施した。	約 30
2月8日	座間味村座間味島	座間味村座間味島住民へのザトウクジラに関する講演会	スライドを用い、地元住民に対して、ザトウクジラの最新研究成果と今後の持続的な本種の保全と観光利用の両立について講演した。	約 40
2月9日	遠隔	沖縄県希少野生生物保護推進事業 検討委員会(第7回)	指定希少種の保護増殖事及び調査計画等について、検討と協議を行った。	約 20
2月10日	水族館ザトウクジラ特設展付近	水族館ザトウクジラ特設展付近でのザトウクジラ学習会と観察会	水族館解説員と共同で、ザトウクジラ特設展のパネルや紙芝居を用いて、ザトウクジラの解説をし、参加者と探鯨を実施した。	約 50
2月11日	オンライン	小笠原のザトウクジラを知る講演会	スライドを用いて、衛星標識タグを用いた、世界および沖縄での先進的な研究事例について紹介した。	約 100
2月16日	書面	国立科学博物館 機関紙「milis」	当財団が実施している沖縄のザトウクジラ調査および国内外との共同研究成果について執筆した。	-
2月18日	屋部公民館	古文書およびペリー提督日本遠征記に記載された島ダイコン	「混勃験集」、「御膳本草」、「ペリー提督日本遠征記」に記載された島ダイコンならびに名護湾の測量時に屋部近郊を測量した事例の紹介した。	15
2月18日	本部町	令和5年度子ども科学技術人材育成事業	「サメ」を題材とした講義の後、サメの脱落歯を用いた工作を実施した。	114
2月20日	本部高校	本部高校チャレンジ塾	スライドを用いて、沖縄で見られる鯨類やザトウクジラの基礎的な情報について講演した。	約 10

実施日	会場 (市町村)	事業名(講座名)	内容	参加人数
2月20日	総合研究所	韓国映画製作会社「Anamnesis Film」ドキュメンタリー映画取材	沖縄とザトウクジラの歴史やザトウクジラの鳴音や基礎的な情報について、インタビュー形式で対応した。	-
2月22日	那覇市泊港	ブルーカーボン×ホエールウォッチングシンポジウム	スライドを用い、地元住民に対して、ザトウクジラの最新研究成果と今後の持続的な本種の保全と観光利用の両立について講演した。	約 50
2月27日	沖縄協同青果株式会社	島ヤサイにおける今年度の各関係機関の取り組みに関する意見交換会	沖縄県農林水産部、沖縄県商工マーケティング戦略課、中城村、金武町、石垣市、JAおきなわおよび当財団の島ヤサイに関連する担当者が今年度の島ヤサイに関する総合的な意見交換会を行った。	10
3月2日	東京大学総合研究博物館 (東京都文京区)	植物研究雑誌編集委員会および定時総会	植物研究雑誌第99巻3, 4号の編集と、2号の最終校正を行い、100巻記念号以降の刊行方針などについても検討を行った。	14
3月2-3日	座間味島 高月山 (座間味村)	令和5年度慶良間諸島国立公園における指定植物普及啓発等業務の講師依頼及び事前視察(環境省事業)	座間味島の乾性草地において、参加者と植生調査を体験してもらい、さらに座間味島を代表するイゼナガヤやおオマツパンバなどの植物の解説を行った。	15
3月5日	オンライン	第4版沖縄県版レッドデータブック 第2回生息地等保護ワーキンググループ会議	沖縄県内の保護すべき生息地選定に関する方針を検討した。	約 15
3月6日	オンライン	沖縄県版レッドデータブック第3回編集委員会	維管束植物分科会の編集工程、補足調査、暫定候補種リスト、次年度計画等について事務局及び分科会員と会議を行った。	約 20
3月8日	東北大学植物園津田記念館 (宮城県仙台市)	日本植物分類学会評議員会および学会誌編集委員会	日本植物分類学会の大会で採決を要する議決案のとりまとめと、学会誌(英文・和文)の編集状況に関して討議が行われた。	21
3月9日	第5回動物園水族館大学 シンポジウム(京都大学)	動物園水族館が「野生への窓」となるために	当財団の実施するザトウクジラ調査と東京海洋大学との個体数推定に関する共同研究について、共同講演を実施した。	約 300
3月13日	オンライン	日本分類学会連合 標準和名問題検討WG第1回検討委員会	日本の植物につけられる和名の標準化に向けたWGで、生物群ごとの諸問題の情報交換や分野ごとのアンケート内容の検討を行った。	12
3月14日	足摺海洋館(高知県土佐清水市)	足摺海洋館職員への研修	足摺海洋館に招聘され、水族館事業を通じた調査研究活動の内容と進め方について講演を行った。	約 15
3月23日	ヒルトン沖縄北谷リゾート (北谷町)	EARTH HOURE関連イベントにおける学習会	海の生きものと環境問題をテーマに学習を行った後、マイクロプラスチックとレジンを使ったオリジナルキーホルダー作りを実施した。	30
3月26日	糸満市役所 (糸満市)	令和5年度 第2回 糸満市文化財保護委員会	サバニの製作技術の市無形民俗文化財指定にかかる理由書案について、委員ならびに事務局間で意見交換を行った。	6